

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY

セロリ

2018.1
January
No.106

| 特集 | 知りたい!

最近話題の ニュースな用語



平成30年度の
小学校教員採用試験に
合格した学生3名の
インタビューを掲載

中面をCHECK!



先生方や 仲間のおかげでつかった 教員採用試験合格

本学における、平成30年度小学校教員採用試験の現役合格率は78%と、
好成績を残しました。厳しい試験を勝ち抜いた合格者の中から、
勉強も学生生活も同じくらい精力的に頑張った3名の男子学生にお話を伺いました。



福岡市
教員採用試験合格

福岡県
教員採用試験合格

北九州市
教員採用試験合格

「教員を志望するのなら、中村がいいよ」と、先生や家族に中村学園大学の受験を勧められたという3人。小学校教員になるという夢を叶えるため、採用試験前の追い込み時期は1日約10時間勉強したことも。授業がない時は教室を借り、自治体別の試験情報をみんなで共有したり、自主的にグループで模擬授業の練習を行った。仲間と一緒に頑張った日々を振り返り、「自分ひとりの力じゃ合格できなかった」と話します。

小論文や集団討論の対策で

は、受験する自治体の傾向に合わせて先生方が個別に指導。試験に直結した対策がとれたのも合格の秘訣です。
勉強に励みながらも、太田さんは自治会長・ボランティア活動を務め、長さんは和太鼓部・ボランティア活動に取り組み、上田さんはバスケットボール部部長として活躍するなど、充実した学生生活を送った3人。「子どもに寄り添えるような教員に」と、北九州市のマイスター教員に」と、教員の夢を手にした彼らの熱い思いはもう次の目標へと向かっています。

旬のひと 第11回

教育学部児童幼児教育学科4年

写真右: 太田 鴻平さん(戸畑高等学校出身)

中: 長 優一郎さん(大牟田高等学校出身)

左: 上田 大貴さん(筑前高等学校出身)

仲間とともに学んだ時間が 大きな自信につながった

CELERY | No.106

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌「セロリ」 2018.1.30発行



02 知りたい! 最近話題のニュースな用語

卒業生インタビュー

06 先輩に会いたい! 社会福祉法人敬養会 香楠荘 佐々木 晶子さん

Column1

07 この授業に注目! 「ビジネス会計I」 キャリア開発学科 岸川 公紀准教授

08 フード・マネジメント学科 Information 福岡マラソンで「ソイチャージ」を提供

09 GO!GO!PICKLES 「海外での体験、聞かせて!」

11 第51回霜月祭開催レポート

Column2

13 クラブ&サークル 「遠州流茶道同好会」

14 NEWS&TOPICS

知りたい! 最近話題の ニュースな用語

あなたが最近、テレビや新聞、雑誌やインターネットでよく耳にする(目にする)言葉は何ですか?

今号の特集では、数ある話題の用語の中から、
タブレットなどを活用した教育として注目を集める「ICT教育」、
健康や美容に敏感な女性に人気の「スーパーフード」、
私たちの未来の鍵を握る「AI(人工知能)」をピックアップ。
気になるこれらの用語について、それぞれの分野に詳しい本学の教員たちに語ってもらいました。

「聞いたことはあるけどどのようなものかは知らない」、
「興味はあるけど具体的にはわからない」という方は、
ぜひより深く知るきっかけにしてください。

きっとテレビなどのニュースが、
もっと身近に感じられるようになるはずです。

KEYWORD

スーパー
フード

Super Food

KEYWORD

AI

Artificial
Intelligence

KEYWORD

ICT教育

Information and
Communication
Technology

ICT教育

Information and
Communication
Technology

ICT機器はあくまでも道具。 使い方次第で、子どもの 学習意欲を高めます。

教育学部児童幼児教育学科
新ヶ江 登美夫 教授

研究分野: コンピュータを利用した学習支援システム、
知的教育システム、教育工学

ICT教育について 教えてください

まず、ICTというのは Information and Communication Technologyの略で、訳すと情報通信技術。タブレットや電子黒板などの機器を活用した教育のことをICT教育といいます。文部科学省はICT教育を積極的に奨励しており、2020年にはすべての学校で1人1台のタブレットを導入、プログラミング教育が必修化されます。最近ではICT教育の動向に合わせて、佐賀県のように教員採用二次試験で電子黒板を使った模擬授業を行う自治体も出てきました。その対策として本学ではプロジェクトや電子黒板などの機器も揃え、情報教育に力を入れています。

ICT教育の導入により 何が必要とされますか？

タブレットを使ったデジタル教材には漢字の筆順が表示されたり、図が立体映像で現れたり、楽しいコンテンツが充実しています。また、跳び箱を跳ぶ時にウェブカメラで撮影すれば、自分のフォームを確認すること

もできます。ICT機器を上手に活用することで、子どもの学習意欲を高めることができますね。

一方で、ICT機器も使い方によっては逆効果になる場合もあります。ネットで検索すればすぐに答えは出ますが、それだけで子どもたちは学習した気分になって考えることをやめてしまい、結果的に創造性を奪うことにもなりかねません。ですから、最初からネットを使うのではなく、まずはどんなキーワードで何を調べられるのかという、調べ方の方向性を教える必要があります。そうすれば「もったいない」ということを調べたい」と、子どもたちの学習意欲はさらに高まっていくでしょう。

昔の授業は先生がもっている知識を出していく教授型でしたが、今後はICT機器を活用しながらグループで相談したり、発表したり、いわゆるアクティブラーニングの学習形態が増えてくると思います。ICT機器はあくまでも学習の道具。ICT機器の道具を活用することで、楽しく効果的に分かる授業が行われることが期待されます。

さまざまな ICT機器

学内にあるICT機器について、
新ヶ江教授に実際の使い方を紹介
してもらいました。



電子黒板

教科書を映し出し、拡大したり、上から線を引いたり、黒板に書いたものをそのまま保存することもできる。



音声ペンの英語教材

専用のペンで絵本をなぞると、英文や単語をネイティブの発音でクリアに再生。楽しみながら英語を学習できる。



実物投影機(書画カメラ)

映し出したいものをカメラの下に置いてプロジェクトやパソコンに映し出す。裁縫など見えづらい手元を映し出して説明するのに便利。

KEYWORD

スーパー フード

Super Food

フード・マネジメントの 視点からみても 興味深い食品です。

栄養科学部フード・マネジメント学科

水元 芳教授

研究分野: 国際保健栄養学、
国際食文化論



スーパーフードって どんな食品ですか？

スーパーフードという言葉は80〜90年代頃から既に使われていたのですが、2004年頃にアメリカで本が出版されたのをきっかけに、世界中に広まり始めました。日本には「一般社団法人スーパーフード協会」があり、その中でスーパーフードとは「他の類似食品に比べて栄養バランスに優れ、すぐ良い栄養成分が突出して含まれているもの」という、少し曖昧な内容で定義づけられています。日本の伝統食では味噌や抹茶、麹などもスーパーフードとして認定され、「ジャパニーズスーパーフード」と呼ばれています。

確かにスーパーフードには素晴らしい成分がたくさん含まれているので積極的に摂ってほしいと思いますが、スーパーフードだけに頼ると栄養バランスを崩してしまうので、摂り方には気をつけてほしいですね。

スーパーフードが

注目を集めた理由は？

優れた栄養素の他に、スーパーフードを語る上で着目し

たいのはそのマーケティング戦略です。私は食品の商品開発や購買行動についても授業の中で話していますが、スーパーフードはネーミングからPR方法まで、ターゲットを明確に捉えているなど感じます。ひとつの食品に焦点を当てて栄養素を強調していくという方法は消費者にメッセージが伝わりやすいですし、美しいモデルが「これを食べたらキレイになる」と語るだけで、女性にとってはすごく効果的ですね。PRする人が誰なのかというのもすごく大切で、何が社会のニーズに合致している、その付加価値をどんな方法で前面に出していけば人々の心に響くのか。スーパーフードは戦略的なフード・マネジメントによって注目を集めた成功事例だとも言えます。

スーパーフードのように、私たちの周りには消費者の心をくすぐるような食品があふれています。どんな栄養素が含まれていて、それをどういう風に食べると体に良いのか。「食の中村」で学ぶ学生たちには提供された情報を正しく判断できる力を養ってほしいと願っています。

おすすめ スーパーフード

たくさん種類のなかから、水元教授お手持ちのスーパーフードをご紹介します。おすすめの食べ方についても聞きしました。



キヌア

アミノ酸の種類が豊富。「火を通して、カリカリのベーコンと一緒にサラダにのせるとプチプチの食感も楽しめます」。



チアシード

水にふやかしてヨーグルトに混ぜて食べるのがおすすめ。食物繊維のグルコマンナンが急激な血糖値の上昇を防いでくれる。



ココナッツチップス

脂質が高く、ビタミン豊富なココナッツを乾燥。そのまま食べてもおいしく、サラダのトッピングとして使ってもOK。



ココナッツフレーク

料理に使いやすいココナッツフレーク。「しっとり系のフレークはトーストにトッピングすると、とってもおいしいですよ」



AIが普及する時代に備え 人間にしかできないことを 考える必要があります。

流通科学部流通科学科
姉川 正紀 准教授

研究分野：感性工学、色彩工学、
パターン認識・理解

AI（人工知能）について 教えてください

1957年に人間の脳を模倣した機械学習が考案され、その頃からコンピュータにはプログラムで動くものと、人間の脳を模倣したニューロコンピュータという2つの系統がありました。今ブームになっているのは、このニューロコンピュータの延長である「ディープラーニング」という手法を使ったAIです。

ディープラーニングはプログラムではなく、機械学習と言われる技術。世界一強い棋士に勝ったコンピュータ「アルファ碁」は過去の囲碁の対戦棋譜を学習させて作り上げた、ディープラーニングの手法によるAIとして知られています。また、AIは従来のコンピュータが苦手としていた画像認識の分野での進歩が著しく、今や画像認識率は人間に近いレベルにまでアップ。車の自動運転等にも応用されることが期待されています。

このまま研究が進めば2045年頃になると、コンピュータが人間の能力を超えるのではないかと言われており、これを「シンギュラリティ（技術的特異点）」と呼びます。

AIの普及で、世の中は どう変わりますか？

メディアでもよく言われていますが、機械化により失われる職業があるかもしれませんね。単純な事務作業だと、ある程度の文書は自動作成できますし、バーコードの代わりにICタグを使えばカゴごと全部が読み込めるのでスーパールのレジ打ちも必要なくなります。

しかし、AIが実用化したからといってすぐに何もかもが機械化されるわけではありません。コスト面で人件費の方が安ければ機械化されないでしょうし、レジでコミュニケーションを楽しむみたいお客様もいるかもしれません。また、AIが苦手なのがお笑い系や創造力を必要とする分野だと言われており、私が研究している感性工学でも、今のところ機械が人間の感性を超えるのは難しいと考えています。

さまざまな分野で機械化が進む時代。人々は今後、来るべきシンギュラリティに備えて、AIなどのコンピュータにとつて代わられない仕事に就くことを検討する必要があるのかもしれない。

「AIがもっと進歩したら大学はどう変わる？どんなことをしてほしい？」

学生たちに 聞きました！

忘れ物とかレポート提出とかをサポートしてくれるようなものがきたら…画像認識するシステムを使ったりして「忘れてますよ」って警告してくれるとか

朝はエレベーターが混むから、学生証をピッと読み込んだら「どっちの棟に行けば混まないよ」って教えてくれるシステム



その場にいなくても授業が受けられるようになったらいいな。ライブ映像だったら何度も見直せるし、みんなの意見はチャットで映し出せばいい

学食のレジで並ばなくても会計できるシステムがほしい

講義室全体をパッと撮影したら、一瞬で出席がとれる！

／卒業生インタビュー／

先輩に 会いたい!

さまざまな現場で活躍する
中村の卒業生をインタビュー!
先輩たちの“今”を紹介します。

OB・OG
interview
vol.10



栄養士養成課程既卒者の
合格率は約20%という
難関な「管理栄養士国家試験」。
仕事と勉強を両立し、
見事合格した佐々木晶子さんに
お話を伺いました。



佐々木 晶子さん sasaki akiko
平成23(2011)年度 食物栄養学科卒業
勤務先: 社会福祉法人敬養会 香楠荘

国家試験合格を目指して
必死に勉強した日々

中村では短大の卒業と同時に栄養士免許を取得できますが、在学中から栄養士だけでなく、管理栄養士の資格も取ろうと心に決めていました。管理栄養士国家試験は短大卒業後、3年の実務経験を経てようやく受験することができるので、仕事をしながら毎日一生懸命、勉強しました。

就職して最初の1〜2年間は仕事を覚えるのが大変で、家に帰ると疲れて寝てしまうことも。そんな時にサポートしてくれたのが母校が主催する「管理栄養士国家試験準備講習会」。中村では半年間、食物栄養学科の卒業生を対象に講習会を開催。先生が試験問題の対策や願書の書き方を指導してくださったので、とても心強かったです。また、周りの受験生たちと一緒に学ぶことで、良い刺激を受けました。その後も毎日2〜3時間勉強して、二発合格!同じ職場の先輩方も喜んでくれて、本当にうれしかったです。

資格を取得して任された
「栄養ケア」という仕事

現在は献立作成から発注、調理、配膳など、利用者の食事に係わる業務全般を行っています。関連施設のデイサービスでは「男の料理教室」という講座で講師を担当。一緒に巻き寿司を作ったり、料理の苦手な60歳以上の男性に料理を教えています。みなさんに「楽しかった」と喜んでいただけるとやりがいを感じます。

管理栄養士の資格を取得してからは利用者個人の栄養を考える「栄養ケアマネジメント」という仕事にも携われることになりました。月に一度の会議では、介護士や看護師と利用者一人ひとりの食事について相談。栄養ケアは「糖尿病で高血圧の場合、食事をどうするか」など、個人の状態に合わせた専門的な知識が必要とされます。管理栄養士の試験勉強は終わりましたが、これからは栄養ケアの勉強を続けて、仕事に活かしていきたいと思っています。



この授業に
注目!

**財務諸表を読み取ることで
その裏側に隠された
本質を見極める**

ビジネスに必要なスキルを磨くキャリア開発学科では、基本的なビジネススキルのひとつとして、簿記や会計を学びます。この授業は、高校や前期講義で既に基礎簿記を学習した学生を対象に、さらに実践力や応用力を身につける選択科目として今年度より開講されました。

キャリア開発学科 岸川 公紀 准教授

ビジネス会計Ⅰ

中村学園ならではの授業や学生に人気の授業など、ユニークな講義や実習を紹介します。



この授業の特長は実在する有名企業の財務諸表を例に、数値の読み取り方や用語の説明が展開されること。わかりやすい言葉に置き換えて解説するので理解も早く、その奥にある企業の体質まで見えてきます。「自分たちが就職しようとしている会社の経営状況はどうなのか。これからの就職活動でも活用してもらえたら」と、担当の岸川先生。数値分析だけにとどまらず、そこから本質を見抜き、企業の経営実態を把握する力も育てます。



担当教員コメント /

社会ではきちんと物事の意味を考えて、分析して、自分なりに結論を出す、という「考える力」が求められます。表面上の数値を分析するだけでなく、その裏側にある本質を見抜く力を養って、人間的に成長してほしいと考えています。

キャリア開発学科
岸川 公紀 准教授



▶▶▶ Student's Voice

今回の授業ではアパレル企業を例に、財務状況について学ぶことができました。財務諸表の見方がわかると就職する上で強みになると感じます。就職活動も近いので、気になる企業の経営状況も調べてみたいと思います。

キャリア開発学科1年 山口和恵さん
(玄洋高等学校出身)



実在する企業の財務諸表を取り上げた、とてもわかりやすい授業です。専門知識だけでなく企業のことも学べるため、就職活動にも生かしたいと思っています。簿記は苦手ですが、資格取得を目指して頑張ります。

キャリア開発学科1年 麻生みつきさん
(別府翔青高等学校(旧 別府青山高等学校)出身)



福岡マラソンで学生考案の 「ソイチャージ」を提供！ 企画、広報、調理の舞台裏… 当日までのドキュメント！



10/6



結団式

応募37案の中から3案が選ばれ、それぞれの良い部分を掛け合わせて採用メニューが決定！株式会社果実堂の「発芽大豆」と野菜を使ったコンソメ味のゼリーを提供することに。参加学生33名は商品企画チームとプロモーションチームに分かれ、活動することになりました。

10/21



「ソイチャージ」に名称決定！

名称を「ソイチャージ」に決定、「大豆パワーで走RUNと！」をキャッチコピーに、プロモーション活動も本格的に開始。また、商品開発チームの学生は模擬調理で本番の調理のイメージを体感し、準備に力が入ります。

10/28



株式会社果実堂を プロジェクトメンバー5名が訪問

「発芽大豆」を提供いただく株式会社果実堂を訪問。工場と研究室を見学し、発芽大豆の優れた栄養価や美味しさの秘訣を知ることができました。さらに企業農業の取り組みについて実態を学び、食品業界の仕事のイメージを拡げることができました。

10/31

ロゴマーク決定！ 応援グッズを製作

プロモーションチーム・三戸さんによるデザインがロゴマークに採用され、のぼりやメガホン等の応援グッズを製作。本番ムードが高まり、一気にチームの一体感がアップ！



11/11

2,000食調理！

開発チームは大会前日、「ソイチャージ」2,000食を準備。ランナーの皆さんが手に取っていただけるか不安もありますが、本番に向け、準備万端です！



11/12



福岡マラソン当日！

早朝から現地入りし、給食所を設営、ソイチャージ2,000食が並びました。ランナーに声援を送りながら、ソイチャージを手渡ししていきました。あっという間に2,000食すべて配り終え、ランナーの皆さんにも好評だったようです！



平成30年度 入試結果

平成29年11月末現在

※競争率は、受験者数／合格者数(少数点第3位以下を四捨五入)

●中村学園大学(推薦入学選考)

学部・学科	区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学部 栄養科学科	公 募	50	110	110	63	1.75
	併設校	20以内	20	20	20	1.00
	指定校	20	26	26	26	1.00
栄養科学部 フード・マネジメント学科	公 募	20	30	30	28	1.07
	併設校	10以内	6	6	6	1.00
	指定校	15	24	24	24	1.00
教育学部 児童幼児教育学科	公 募	65	109	109	80	1.36
	併設校	15以内	15	15	15	1.00
	指定校	20	22	22	22	1.00
流通科学部 流通科学科	公 募	20	41	41	34	1.21
	併設校	20以内	16	16	16	1.00
	指定校	70	106	106	106	1.00

●中村学園大学短期大学部(推薦入学選考)

学 科	区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養学科	公 募	19	39	39	37	1.05
	併設校	5以内	3	3	3	1.00
	指定校	35	24	24	24	1.00
キャリア開発学科	公 募	10	33	33	29	1.14
	併設校	10以内	10	10	10	1.00
	指定校	90	97	97	97	1.00
幼児保育学科	公 募	80	70	70	67	1.04
	併設校	15以内	15	15	15	1.00
	指定校	60	92	92	92	1.00

この取材を企画したPICKLESメンバー

1年生の春休み、サンフランシスコへ。海外に目を向ける良い機会になりました。

修学旅行で行ったベトナムではハロン湾クルーズに参加。美しい風景が忘れられません

海外には一度も行ったことがないので、とても憧れています！



流通科学部流通科学科3年
林 克樹さん
(朝倉高等学校出身)



流通科学部流通科学科1年
日野 都香沙さん
(朝倉高等学校出身)



栄養科学部栄養科学科2年
田代 帆乃香さん
(伊万里高等学校出身)

Go!Go! Pickles

海外での体験、聞かせて！

大学の留学制度や海外研修などを通じて
多くのナカムラ生が海外留学を体験！
海外での勉強や生活について
5人のナカムラ生にインタビューしました。

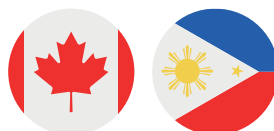


カナダの語学学校のクラスメイトと



フィリピンで囚人の更生プログラムに参加

フィリピン、カナダで 新たな世界に出会う



私は、フィリピンに2カ月、カナダに7カ月の海外留学、その後2週間北米を一人旅しました。留学のきっかけには英語がペラペラに話せるようになりたい、という気持ちと、知らない世界を見てみたい、という気持ちからです。日本での英語の勉強は苦痛を感じることもありましたが、現地では友人とのコミュニケーションを通して楽しく学ぶことが出来ました。TOEICは700点以上の好成績を修め、英語力の向上を実感しました。

また、フィリピンを訪れ発展途上国の現状を目の当たりにし、自分は世界の一部しか知らないということも痛感しました。孤児院を訪ねた際、子どもたちと折り紙で遊びましたが、どんな環境にも関わらず楽しんでいる子ども達を見て、「幸せとは何か」を考えさせられました。以来、世界中の子ども達に幸せを聞いてみたい、と望むようになりました。

現在、「世界一周コンテスト」に応募し、世界中の子どもたちに会いに行つて、子どもたちと鶴を折って繋げていく「世界一周×千羽鶴」というプロジェクトで最終選考を控えています。卒業後は保育士になりますが、世界中の子どもたちの幸せを日本の子どもたちにも伝えたいと思っています。



教育学部児童幼児教育学科4年
中山 美和さん(伊万里高等学校出身)

語学留学 私費

留学先/フィリピン、カナダ
留学期間/ 2カ月、7カ月



憧れのスペインへサッカー留学！

サッカー同好会で部長を務めていた3年生の大会で、サッカー留学をサポートする団体からスカウトされ、奨学金のサポートを受けサッカー留学に行ってきました。これまで色々な国を旅行したことがあり、海外に興味があったので、この機会を利用してサッカーの本場、スペインへ2週間滞在することになりました。

滞在中は、スペインのサッカーチーム「ベティス」の練習生として参加し、毎日午後8時から10時まで集中して練習しました。それ以外の時間は自由時間なので、マドリッドやバルセロナ、サグラダファミリアなど、電車で有名な観光地にも行くことができました。サッカー観戦では、スタジアムの中だけでなく街中の熱気に圧倒されました。

今回の留学で、奨学金では不足する費用はアルバイト代や仕送りを切り詰めて使いました。この機会を応援してくれた家族には感謝しています。

大変なことも多かったですが、留学して損はないと思います。日本を離れて、世界の環境を知っておくことで視野が広がりました。次回は、インドに行く予定です。未知なる世界を見るため、これからも海外旅行を続けていきたいと思っています。



スペインのトマト祭りは町中がトマトに！



所属した「ベティス」のチームメイトと

流通科学部流通科学科3年
西村 空さん(東鷹高等学校出身)

サッカー留学 奨学金 + 私費

留学先/スペイン
留学期間/2週間



プログラムを終え修了証が手渡されました



語学学校でお世話になった先生と

イギリスの食文化を学んだ3週間

1年生の春休み、食物栄養学科の選択科目「英語・海外研修」に参加し、イギリスの観光都市カンタベリーに約3週間滞在しました。参加したきっかけは、海外の栄養士の現場や食文化を見てみたいと思っていたからです。栄養士を目指す学生のために、イギリスの給食事業や食文化に触れる専門性に特化したプログラムが組まれていました。

滞在中、午前中は語学学校で英語を学び、午後は病院や施設、市場などを見学しました。日本との違いを感じたのは、病院食についてです。日本では患者の容態に合わせて管理された食事が提供されますが、イギリスの病院ではメニューが沢山あり、食べたいものを患者が選択でき、食べる楽しみを尊重されているようでした。

一番印象に残ったのは、語学学校での学びです。両隣が他国籍の学生だったため、最初は緊張で言葉が出てこず、聞き取ることも出来ませんでした。しかし、つたない英語でも身振り手振りで何とか伝えよう、という気持ちで接したところ、最終日には伝わるようになりました。相手に伝えようという気持ちが大事なんだ、と実感し、今後もこの姿勢を忘れず努力していきたいと思っています。



食物栄養学科2年
藤 康之さん(東福岡高等学校出身)

選択科目「英語・海外研修」 私費

留 学 先 / イギリス(カンタベリー)
留学期間 / 約3週間



将来は韓国語を生かした仕事に

私が留学を決めたきっかけは、高校生の頃、韓国に旅行に行ったことです。それまでは、ニュースで韓国人は反日感情があるというイメージを持っていましたが、実際に行ってみると韓国の方々とはとても親切で、そのギャップに驚き、韓国のことをもっと知りたいと思うようになりました。

大学の「海外留学スカラーシップ制度」で選拔され、奨学金で韓国に留学することができましたが、留学前に単位を取得したり、韓国語の特別講座には苦労しました。辛い時もありましたが、TOPIK(韓国語能力試験)5級に合格し、韓国語は上達したと思います。

帰国後、福岡市内の韓国人観光客向けのお店でアルバイトしており、おもてなしやインスタグラムの投稿等を任されています。将来は韓国語を生かした仕事に就きたいと思っており、卒業後は韓国の大学院への留学も検討しています。

スカラーシップ制度での留学を目指す方へ、スカラーシップで採用されるには、成績が大切なので、1年生の授業を大切にしてください。1・2年生のうちにたくさん単位を取っておくことをお勧めします!

流通科学部流通科学科3年

田中 文乃さん(博多青松高等学校出身)

海外留学スカラーシップ制度 奨学金

留 学 先 / 韓国(釜山)
留学期間 / 6カ月



韓国の文化にふれたチマチョゴリ体験



クラスメイトと韓国料理チャプチェにトライ

現地の厳しい授業で英語力がアップ!

英語が好きで、高校では普通科の英語コースに通っていました。キャリア開発学科を選んだ理由も「短大で海外研修のプログラムがある」からでした。1年生の夏休みに選択科目「海外研修」に参加し、4学科計15名でアメリカのデラウェア大学に3週間の語学・文化研修に行ってきました。デラウェア大学のELI(English Language Institute)という、英語を学びに来た人のための集中英語課程に通ったのですが、まず、プレテストでクラス分けがありました。高校時代に1カ月間のカナダ留学経験もあったので上級クラスに配置され、そのクラスは日本人が私1人だけでした。授業は積極的に発言しないと遅れをとるほど厳しかったのですが、そのおかげで英語力はとても向上したと実感できます。ホームステイは日本人学生3人が一緒でしたが、車で移動するときはいつも助手席に乗ってホストマザーとの会話を楽しみました。

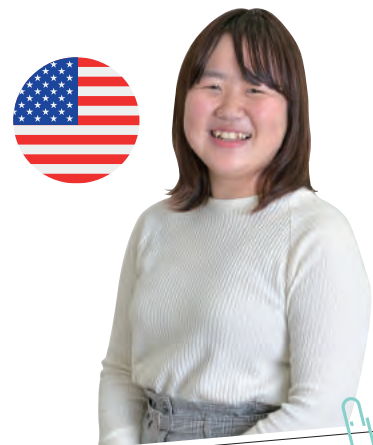
帰国後は、英語でのプレゼンテーションコンテストに応募しました。出身県の鹿児島県の魅力をPRするものです。結果は残念でしたが、英語での資料作成、プレゼンテーションは楽しいチャレンジでした。海外研修で積極性も身に付いたかな、と思います。今後は英語力をさらに磨き、英検にも挑戦していきたいです。



キャリア開発学科1年
平木場 朝日さん(神村学園高等部出身)

選択科目「海外研修」 私費

留 学 先 / アメリカ(デラウェア)
留学期間 / 3週間



ホストマザーと公園でピクニック



お気に入りの黄色いスクールバスの前で

第51回

霜月祭

11月2日 木・3日 金・祝・4日 土

今年のテーマは「On ～ここから始まる1ページ～」。
新しい章の1ページを作り上げたいという思いを込めて、
学園祭実行委員会を中心に取り組んだ霜月祭。
野外ステージやミスキャンパスコンテストなど、
楽しいイベントで大いに盛り上がった3日間となりました。



フードバザー

総務&総合製作パート

だんご汁

昆布と椎茸から出汁をとった、やさしい味のだんご汁。白菜やにんじんなど野菜もたっぷりの本格的な一品に「おいしいだんご汁であったまってほしいですね」と、総合製作パート長の坂本瑠花さん(流通科学部流通科学科2年)。



広報パート

チュロス

豆腐をベースに、砂糖の入っていないヘルシーなチュロス。パート長の立若美菜実さん(教育学部児童幼児教育学科2年)は「みんなのアイデアでハート型にしました。女性に食べてもらいたいです!」と話してくれました。



薬膳・食育ボランティア部

中村式薬膳カレー・甘酒ゼリー

「代々続く中村学園伝統のカレーなので、みなさんに『さすがだな』と思ってもらえたらうれしいです」と語る部長の高山紗輝さん(栄養科学部栄養科学科3年)。伝統の味を守るために改良を重ねた自信作です。



卓球同好会

ごま団子

モチモチとした食感と、中に入ったたっぷりのあんがたまらなくおいしいごま団子。「低温でじっくり揚げ、食べやすくひとくちサイズにしました」と、部長の諸井大樹さん(教育学部児童幼児教育学科2年)。



ダンスコンテスト



本学だけでなく、他大学からも多くのチームがエントリーして競い合う「ダンスコンテスト」。スポットライトを浴びながら、各チームが練習の成果を披露。キラのある動きでパフォーマンスを繰り広げるダンサーたちに、観客の視線も釘付けでした。



ミスキャンパスコンテスト



霜月祭のイベントの中で最も注目を集める「ミスキャンパスコンテスト」。今年は学内で選ばれた6名の学生がエントリーして、美や個性を競いました。最終審査ではウエディングドレス姿で登場！その美しい姿に会場からは歓声が上がりました。今年のミスキャンパスに輝いたのは、教育学部児童幼児教育学科4年の川津里緒さん。受賞の喜びを笑顔で語ってくれました。



ミニコンサート



アコースティックギター同好会、クリスタルハーモニーがさまざまなジャンルの音楽を奏でるミニコンサート。弾き語りのライブではその歌声に観客も聞き入っていました。

野外ステージ



和太鼓部と書道部の躍動感あふれるパフォーマンスで幕を開けた野外ステージ。仲がいいカップルを決める「NAKAっがる」や笑いを競う「N-1グランプリ」、「It's show time」など、3日間にわたり楽しいイベントで盛り上がりしました。

作品展示



食育館ではこれまでの活動の集大成として、書道部と華道部の作品を展示。個性あふれる作品の数々に、訪れた方もじっくりと見入っていました。

ちびっ子企画



体育館サブフロアでは、子どもたちを対象に「のびのび広場」「中村アドベンチャー」を開催。段ボールで作ったトンネルやボール投げで、子どもたちも楽しく遊びました。



理事長賞【フードバザー部門】

👑 第1位 ステージパート(じゃがもち)

👑 第2位 薬膳・食育ボランティア部
(薬膳カレー・甘酒ゼリー)

👑 第3位 内田ゼミ(かしわおにぎり)

学長賞【中村ミュージアム部門】

👑 第1位 書道部

👑 第2位 倉原ゼミ(プラバン作り・作品販売)

👑 第3位 アコースティックギター同好会

※来場者の投票によって、【フードバザー部門】は模擬店出店団体から、【中村ミュージアム部門】は展示・ステージ発表をした団体から1位～3位が選ばれ、表彰されます。



メンバーは2年生5名と3年生8名。
お稽古に励む『遠州流茶道同好会』を訪ねました。

COLUMN

CLUB & CIRCLE

クラブ&サークル



古くから受け継がれた伝統文化「遠州流茶道」の魅力を広めたい

師範：遠州流茶道 家元師範代 三好隆男先生(写真中央)

凜とした空気の中、
心を落ち着けて
茶道の奥深さにふれる

日本を代表する伝統文化「茶道」にはさまざまな流派がありますが、中でも一切の無駄を省いた武家茶道として知られる「遠州流茶道」。その所作を学ぶために外部から先生を招いて活動しているのが「遠州流茶道同好会」です。毎週水曜日のお稽古の他、老人ホームやYMCAなどでもお茶会を開き、交流を深めています。

「日頃の忙しさを忘れて、静かな場所でお茶をいただく。心を落ち着けて、穏やかな気持ちになれるのが楽しいですね」と語るのは、部長を務める栄養学部栄養科学科2年生の井手実紗さん。お点前の流れや足さばきなど、作法の一つひとつを覚えるため、何度も繰り返しお稽古に励んでいます。「先輩方の所作は流れるように、なめらかで、道具の使い方もついても美しさを感じます。早く先輩方のように、お点前を披露できるようにになりたいですね」と、目を輝かせていました。

遠州流の魅力をこのサークルからもっと発信していきたいと意気込むメンバーたち。1年生の入部を心待ちにしています！



霜月祭では学友会館にてお茶会を催しました。当日は部員全員が着物姿で、お越しいただいたお客様へ見事なお点前を披露しました。



和気あいあいとした雰囲気、先輩方も優しく指導してくれます。



「お茶碗や箸の持ち方がきれいだね、ってほめられます」と、部長の井手さん。作法は、日常生活にも生かされているようです。

吉野家と共同開発 温まる2つの鍋膳がメニューに
流通科学部 手嶋ゼミ

11月1日、流通科学部手嶋ゼミの学生たちが牛井チエーン(株)西日本吉野家と新メニューを共同開発し、期間限定で福岡市近郊の10店舗で販売を開始しました。

このプロジェクトでは、若者や女性、

ファミリー層の顧客拡大を目指す吉野家から、大学でマーケティングや商品開発を学ぶ学生たちと一緒に新しい挑戦ができないかと声をかけて頂いたことをきっかけに、ゼミの有志学生6名が約1年かけて調査、企画、プレゼン、商品設計、販売促進に取り組みました。採用されたメニューは、「5種のきのこ狩り牛鍋膳」と「しょうがと根菜のぼかぼかポーク鍋膳」の2商品。「5種のきのこ狩り牛鍋膳」は、単身・少人数世帯では食材が余ってしまうため難しいきのこの食べ比べが楽



しめます。「しょうがと根菜のぼかぼかポーク鍋膳」は、冷え性に悩む女性を意識して生姜や根菜類をふんだんに使われています。

プロジェクトに参加した学生たちは、11月7日の「いい鍋の日」に吉野家天神サザン通り店にてPRイベントを行い、「寒くなるこれからの季節に、美味しい鍋膳を食べて体も心もぼかぼか温まってください」と、笑顔でPR活動に取り組みました。福岡市内・近郊の10店舗にて2018年2月末まで販売されます。

「5種のきのこ狩り牛鍋膳」
大橋店、早良街道西新店、
東光寺店、大野城店、千早東店

「しょうがと根菜のぼかぼかポーク鍋膳」
202号線BP原店、大池通り長丘店、
築港本町店、385号線那珂川店、
天神サザン通り店

「一汁三菜レシピコンテスト」最優秀賞
栄養科学部 今村さん考案のメニューが食育館のランチに

12月13日、食育館のメニューに「一汁三菜レシピコンテスト」で最優秀賞に選ばれた今村朱里さん(栄養科学部4年)考案のメニューが登場しました。「一汁三菜レシピコンテスト」は、食育推進委員会の主催で「食育館で提供できる一汁三菜ランチ」をテーマに、本学学生からレシピを募集、学生の「食」に対する関心を高め、さらには「食に関する自己管理能力」を養うことを目的として実施されました。募集条件として、対象者は20歳代の男女、エネルギー650~750kcal、食材料費300円以内などのほか、盛り付け方法、主食や主菜の設定量まで詳細な条件が設定されました。

応募件数9件のうち、「一食で一日分の野菜(350g)の半分が摂れる!野菜たっぷり定食☆」を考案した今村朱里



最優秀賞: 今村朱里さん(中央)、優秀賞: 石川拡さん(左)



「一食で一日分の野菜(350g)の半分が摂れる!野菜たっぷり定食☆」

「一食で一日分の野菜(350g)の半分が摂れる! 野菜たっぷり定食☆」

主 食 麦ごはん
主 菜 鶏むね肉のチーズバジルカツ
(付け合せ) キャベツ、豆苗、レモン
副 菜 カラフル野菜のペペロンチーノ風
副々菜 かぶと柿の和マリネ
汁 春雨スープ

さん(栄養科学部栄養科学科4年)が最優秀賞を受賞。20代の野菜摂取量が少ないことに目を付け、緑黄色野菜・淡色野菜を合わせて170gを使用、主菜のチキンカツにはバジルとチーズを使い、栄養価・ボリューム共に満足できる工夫が評価されました。

今村さんが考案した「一食で一日分の野菜(350g)の半分が摂れる!野菜たっぷり定食☆」を食べた学生には「食べごたえがあつて満足!」副菜の野菜が美味しかった!など好評で、限定ランチはあっという間に完売しました。



「チャレンジ！糖尿病いきいきレシピコンテスト」 栄養科学部 大部ゼミ生が優秀賞を受賞

10月8日、「第4回チャレンジ！糖尿病いきいきレシピコンテスト」(公益社団法人日本糖尿病協会主催)が開催されました。このコンテストは、糖尿病の患者さんにもっと食事を楽しんで頂けるよう、全国の栄養士・管理栄養士を目指している学生を対象に開催されています。コンテストには朝食部門・昼食部門・夕食部門があり、応募総数387件、夕食部門には150件の応募があり、栄養科学部 大部ゼミの花村衣咲さん・渡邊紀子さん・佐藤聖也さん(栄養科学部栄養科学科4年)のチームが、夕食部門の優秀賞を受賞しました。

糖尿病食事療法のための炭水化物の比率や、カロリーや食塩量、材料費など、様々な制約がある中で、野菜をたく



「第4回チャレンジ！糖尿病いきいきレシピコンテスト」特設サイト
<http://www.recicon.jp/>



受賞メニュー

「ちょっと贅沢な野菜のフルコース」

- *季節の香りご飯
- *鮭と野菜の塩麹グリル〜わさび醤油の和風ソース〜
- *パブリカのポタージュ
- *サラダロール〜ヨーグルトソース添え〜

さん食べてもらえるよう、メイン料理に野菜で作ったドレッシングを使ったり、サラダロールをきゅうりで巻いたりするなど、アイディアがあふれるレシピとなっています。3人は「ズッキーニやきのこなどの、調理後に量が減少していく野菜を使うことで、見た目の満足感や食べごたえを感じられるように工夫しました。糖尿病の方だけでなく、家族みんなで同じものを美味しく食べてほしいという願いを込めて、お祝いの席でもカロリーを気にせず食べられる食事になっています」と、レシピ制作のポイントを話してくれました。

今回の受賞メニューは、「アイディアレシピ作品集」に掲載され、日本糖尿病協会の会員に配布され、ご自宅でも活用いただけるようになっていきます。

国際交流

流通科学部「キャリアアイデアベロップメント」 商店街の活性化アイデアを提案

11月22日、流通科学部1年生の必修科目「キャリアアイデアベロップメント」(担当教員:浅岡由美教授)において、福岡市商店街の活性化についてポスターセッションが行われました。この授業では、キャリアや就業について学ぶとともに、課題解決型学習にチームで取り組み、社会の課題や解決策を考えることを目標としています。流通科学部では、昨年度より「福岡市商店街活性化パートナー発掘事業」に関わっており、今回は福岡市内の16商店街の活性化について調査、提案しました。

本授業では、4〜6名の班に分かれ、福岡市内の上川端・みのしま・新天町・六本松・唐人町・西新・高取などの商店街を訪問し、「強み」「弱み」「機会」「脅威」の4つの視点で調査、クロスS W O T分析にて現状の書き出しと活

性化に向けた提案を加えたポスターを作成しました。SNSの活用やインスタ映え等、若者ならではの提案が多く見られた一方で、高齢者層が多く若年層が少ないことを「強み」と捉え、高齢者層にターゲットを絞った活性化案を提案した班も見られました。

審査員をお願いした福岡市、上長尾名店街の担当者から、「若者向けの大量販店のレシートを持参すれば割引をする、といった商店街と大型店舗との共存についての提案は参考になった」「単に若年層が少ないというより、20歳未満の客層は10%以下というデータがある」といった調査結果には説得力がありました。





11月7日、日本・アジア青少年交流事業「さくらサイエンスプラン」の一環として、インドネシアの学生訪問団と本学の栄養科学研究科の院生との交流及び栄養科学に関する研究教育の視察が行われました。今年で3年目となる本取り組みは、本学内での食堂でのランチ試食や電子顕微鏡室の見学のほか、九州大学大学院制御工学研究室および九大ヘルスケア

国際
交流

さくらサイエンスプラン インドネシア訪問団との交流会

システムLABO糸島「ふれあいラボ」の見学にも栄養科学研究科の院生が同行し、介護福祉ロボットの研究と地域包括ケアシステムの現場を視察しました。今回の交流を通し、英語でのコミュニケーションの重要性を実感する貴重な機会となりました。



平成29年度留学生同窓会開催

国際
交流

10月14日、中国遼寧省大連市のホテル・ニッコー大連で留学生同窓会が開催され、大学からは片山流通科学研究科長をはじめ3名が参加しました。今年には11名の卒業生が参加し、再会の喜びを分かち合い、留学中の思い出や卒業後の活躍話など大いに盛り上がりしました。

帰国後はIT企業や旅行会社に就職した人、起業した人など、それぞれが日本語や大学時代に学んだことを活かしながら多方面で活躍しており、皆、中村学園大学の卒業生であることを誇りに思っていました。



留学生同窓会の于会長から、今後とも毎年開催し、より多くの卒業生が参加できるように開催場所を検討したいと挨拶がなされました。

国際
交流

「ミクロネシア肥満対策研修in福岡」 本学でミクロネシア訪問団が研修

12月18日(22日)「ミクロネシア肥満対策研修in福岡」が実施され、本学にて研修および交流会が行われました。当研修は、開発途上国でありながら肥満の増加(肥満率41.6%)が社会問題となっているミクロネシアの肥満率減少に寄与すべく、JICAの草の根技術協力「ポンペイ州における「減量・肥満防止プログラム」導入事業」に基づき、本学、福岡女子大学、福岡大学等との連携で実施されました。

今回の研修にはミクロネシアポンペイ局の保健局・教育局の担当行政官が来日し、小学校訪問や大学での講義を通じて、食育、体育教育、地産地消の考え方を学習し、将来のミクロネシアにおける肥満率減少に役立ててもらうことが期待されています。栄養科学部や他大学の教員による講義のほか、学生との交流会やうきは市の視察等が実施されました。



学生交流会「ミクロネシアの人と話そう」

国際
交流

Nプロジェクト開催報告 中国人留学生による地域交流イベント



11月12日、別府公民館にて本学のサークル「国際交流会」が地域の方との国際交流行事を開催しました。この企画は、大学が公募した学生による地域交流事業「Nプロジェクト」に国際交流会が採択されたもので、企画から運営まで国際交流会のメンバーが行いました。

イベントでは、本学の中国人留学生による母国の言語や文化紹介、中国にちなんだゲームを行い、地域の方と楽しい時間を過ごすことができました。携わったメンバーは「中国の文化紹介で交流ができて良かった。次回も周知方法を工夫し、もっと多くの地域の方と交流したい」と話しました。



第44回公開講座 『楽しい人生を送るために』開催報告

公開講座は地域との共生という観点から、大学開放活動の一環として市民の方々に本学の教育・研究の成果を還元し、交流を深める目的で毎年開催されています。第44回目を迎える今年度は、『楽しい人生を送るために』をテーマに、左記の内容でA・Cの5コース(3日間・計5講座)で開催し、延べ527名が参加されました。



□開講式(挨拶)	学長 甲斐 諭
□Aコース 9月30日(土)	
「勘違いする脳ーコミュニケーションの不思議ー」	
栄養科学部フード・マネジメント学科 講師 吉村 美路	
「人はいかに行動すれば美しいか」	
教育学部児童幼児教育学科 教授 占部 賢志	
□Bコース 11月11日(土)	
「住み慣れた地域で長くいきいきと暮らすための健康と食生活」	
栄養科学部栄養科学科 教授 木村 安美	
「私たちの食をささえる日本の農業、世界の農業」	
流通科学部流通科学科 准教授 中川 隆	
□Cコース 12月2日(土)	
「調理のススメー不足する野菜を主役にー」	
短期大学部食物栄養学科 教授 三堂 徳孝	

各コースの開催報告記事はこちら本学ホームページ「イベント開催報告」に掲載しています。
<http://www.nakamura-u.ac.jp/topics/>

平成29年度 流通科学研究科セミナー開催報告

11月7日、平成29年度流通科学研究科セミナーが開催され、地域ブランドの提唱者である株式会社ブランド総合研究所代表取締役社長 田中章雄氏より「地域ブランド戦略ー地域資源を活用した魅力づくりー」を講演頂きました。



「モノがない時代」から「モノが溢れている時代」へと変わり、「売る時代」から「選ぶ・伝える時代」へ移った現在、ブランド戦略とは企業らしさ、地域らしさを活かした事業の展開が不可欠であると述べられ、地域資源に付加価値を見出したブランド化の事例や戦略が解説されました。



平成30年度 小学校教員採用試験 現役合格率78%の好結果

平成30年度小学校教員採用試験の結果が発表され、本学教育学部児童幼児教育学科4年生は116名が受験中、実数では91名(延べ164名)が合格しました。現役合格率(※)は78%、昨年の61%から大きく上昇しました。また、本学同学科卒業生も多数合格しています。

年度	現役合格者数	現役合格率
平成25年度	41名	42%
平成26年度	51名	52%
平成27年度	54名	48%
平成28年度	56名	56%
平成29年度	61名	61%
平成30年度	91名	78%

※現役合格率=現役合格者実数÷現役受験者数

ミスカンパス川津さん 早良署の一日警察署長に就任

11月30日、早良署で特別警戒出動式が行われ、管内にある3大学のミスカンパス3名が一日署長を務めました。霜月祭でミスカンパスに選ばれた、本学の川津里緒さん(教育学部児童幼児教育学科4年)も、西南学院大学・福岡大学のミスカンパスと共に、商店街での防犯パレードに参加しました。



Q'conference 2017 ポスターセッション 「中村学園女子高等学校」SGコースの取り組み」 最優秀賞を受賞

12月16日、福岡工業大学にて「Q'conference 2017」が開催され、ポスターセッションにおいて中村学園女子高等学校2年のSGコースが最優秀賞を受賞しました。



向上と発展に寄与することを目的としています。同校は高校としては唯一の参加校で、大学教職員や大学生の発表に混じって、SGコースの「探究科」という授業の取り組みについて発表し、多くの方が興味・関心を示され、ご意見や感想をくださいました。





外部資金等の受け入れ状況

受託研究

- [研究者] 太田 英明(栄養科学部 教授)
武曾 歩(栄養科学部 助手)
- [研究課題名] オリーブ未利用素材を用いた独自発酵技術による機能性発酵食品及び化粧品原料の開発に関する研究
- [委託者] カリカセラピ株式会社
- [研究期間] 平成29年7月1日～平成30年3月16日
- [交付予定額] 581,000円

- [研究者] 甲斐 諭(流通科学部 教授)
- [研究課題名] 菓子文化の向上や地域活性化への貢献を模索する
- [委託者] 株式会社ひよ子
- [研究期間] 平成29年10月1日～平成30年9月30日
- [交付予定額] 1,000,000円

- [研究者] 甲斐 諭(流通科学部 教授)
- [研究課題名] 黒大豆(筑前クロダマル)及び加工食品を核として「筑前町産農産物のブランド化」のために必要な調査・研究
- [委託者] 筑前町
- [研究期間] 平成29年7月3日～平成30年3月31日
- [交付予定額] 1,000,000円

研究寄付金

- [研究者] 三成 由美(栄養科学部 教授)
- [研究課題名] 薬膳の教育や研究に必要な調査・研究費
- [寄付者] 株式会社ヒライ
- [交付予定額] 1,000,000円

- [研究者] 徳井 教孝(薬膳科学研究所 所長)
三成 由美(薬膳科学研究所 教授)
- [研究課題名] 高齢者のニーズに対応したメニューの開発
- [寄付者] 西部ガス株式会社
- [交付予定額] 1,500,000円

教員の表彰

福岡県知事感謝状受賞

平成29年9月17日、平成29年度福岡県栄養士大会・第43回福岡県栄養改善学会において、岩本昌子教授(栄養科学部)が福岡県知事感謝状を受賞しました。岩本教授は長年にわたる管理栄養士・栄養士養成の功績が認められ、表彰されました。



学生の表彰

日本食品科学工学会 西日本支部 学生優秀発表賞

平成29年11月、日本食品科学工学会西日本支部・日本栄養・食糧学会九州沖縄支部合同大会において、栄養科学研究科(博士後期課程2年)の折田綾音さんが学生優秀発表賞を受賞しました。折田さんは演題



甲斐諭学長 3期目スタート

平成29年11月1日付で甲斐諭学長が学長に再任され、3期目の任期がスタートしました。甲斐学長は平成20年より本学流通科学部教授、流通科学研究科(現在も兼任)。平成22年流通科学研究科長、平成23年学長に就任されました。

「有色ササゲ豆における抗酸化活性ならびにフェノール性成分含量の比較」を発表し、学生会員の発表の中から通常会員の投票により同賞を受賞しました。



中村調理製菓専門学校 調理師科夜間コース

大学・短大で学びながら、調理技術の向上と、調理師免許が取得できます。



幅の広がる就職



選べる通学日数



大学に合わせた授業時間とカリキュラム



姉妹校ならではの割安な学費

中村学園大学・
中村学園大学短期大学部の
姉妹校ならではの
メリット

問い合わせ先 中村学園大学 学生部・生活支援課(パンフレットも設置しています)



中村学園大学 中村学園大学短期大学部

予約不要 入退場自由

保護者の方も大歓迎



在学生
との
交流

知りたい！

ナカムラを体験しよう！

OPEN CAMPUS

Spring 2018

3.17^土

10:00~15:00
(9:30受付スタート)



模擬
授業



サークル
紹介



学生生活・
入試相談



当日
アンケートに答えて
オリジナルグッズを
GETしよう！

PROGRAM

※このプログラムは予定です。詳しくはホームページで確認して下さい。

説明会

保護者対象説明会
生徒対象入試説明会

個別相談

学部・学科相談コーナー
学生生活・就職・入試相談

イベント

模擬授業／在学生との交流・キャンパスツアー
クラブ・サークル紹介／寮の自由見学 など

オープンキャンパスの動画もチェックしてね！

受験生応援サイト
中村のタネ
“中村のタネ”

入試情報やイベントの最新情報、在学生の
キャンパスライフをお届けします。



ACCESS ※駐車スペースがありませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします

天神 天神南駅 地下鉄七隈線 9分 別府駅 または 天神 バス 約20分 中村 大学前 博多 博多 バス 約30分 中村 大学前

お問合せ先

入試広報部／〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1

TEL.092-851-6762 (直通)

【URL】http://www.nakamura-u.ac.jp/ 【E-mail】nyushi@nakamura-u.ac.jp

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、広報室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。※保護者の方には毎号送付しています。

【申込先】〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1

中村学園大学 広報室「広報誌定期購読申込」係

中村学園大学
中村学園大学短期大学部



公式facebookページ

